



狼の物語に託す、「これから私はどう生きるか」
ファンタジー小説『奏恩の遠吠え』



ハヤトウリ収穫 ～なんちゃって農業女子(笑)



- ✦ 天国への階段 6 目も鼻も口ほどにものを言い
- ✦ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介
七五三に因んだマンガ
- ✦ ファンタジー小説『奏恩の遠吠え』
- ✦ 同志募集 !! 奥能登福祉農園 (1)
- ✦ 今月の五行歌
- ✦ なんちゃって農業女子(笑) 8
- ✦ 秀作エッセイ
- ✦ 「身体中で一番新しい関節に感謝」(5)
- ✦ イベント紹介 ✦ 編集局より/会計報告

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



「天国への階段」(六) 鶴島緋沙子
目も鼻も口ほどにものを言い

「もう一杯、食あべよっかな」

私のおなか言っている。

「駄あめ」

私の頭が、拒否している。

大好きな鰻のかば焼きと、中トロの鮪の刺身を目の前にして、私の胃腸と脳が、喧嘩している。天国へか、はたまた地獄行きか、我が家の二階への階段に足を掛けるたびに体がよろつく八十七歳。その永い年月、毎度三度三度、熱いものやら辛いものやら、山のように餡に覆われたばた餅や、時にはガラスの器に盛られたピンクの氷の山を崩してきたこの口。

「ええい！ ままよ、もう一丁」

わさびの載った鮪を醤油にくぐらせ、口の中へ放り込む。何と幸せなこの一瞬。

高校時代、授業をさぼって、その頃、学校の帰り道に初めて出来たお好み焼き屋に入っ
て罪の意識を鉄板の下に隠し、友人と、その頃たくさん輸入されて楽しませてくれた全盛

を誇っていた軽いホームドラマ、アメリカ映画の話題に終始。

敗戦後の焼野原が広がる日本の都会の日常生活の暗い貧しさ。

すでに電気冷蔵庫や洗濯機などに囲まれた白一色の、モダンなキッチンで、英語をしゃべるマーナロイや、ジューンアリスン、それにゲーリークーパーやロナルドコールマン。

同じ人間でありながらこの差。戦勝国と敗戦国の庶民の違いと言ってしまうまでもだが、そんな歴史を重ねてきた人間の争いは、今も絶えない。

なんて言うほど哲学的思考も意識も気概もない老婆だが。

いや、老婆だから言おう。

数少なくなった、戦争体験者の言葉、あだやおろそかに聞くでないぞ。

そこらのおばちゃん同士の仲たがいは、わけが違う。何しろ命が懸かっているのだから。今もこの地球上で絶え間なく存在している戦争。

待てよ！ その元は、おばちゃんのそれと

同じじゃないか。

あの国の輸入税は高いとか安いとか。武器を買わないとか。思う通りにいかないとかで威嚇する。おばちゃんたちも言い合う。

「あっちのスーパの方が安いよ」

「いや、いや、こっちの野菜が新鮮だ」

「あそこは、レジの女の子が親切だよ」

「超イケメンの店員がいるとこ教えようか」
他愛のない会話で日が暮れる。平和が何より。



鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校III」の原作となった「トミーの夕陽」(つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。『トミーの夕陽』がまた昇る『私の中の瀬戸内寂聴』『もぐらの目』など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の元代表。

STEMz マンガ文庫 蔵書紹介

七五三に因んだマンガ

11月といえば七五三！ 我が家にも5歳と3歳になる子どもがいるので、お参りに行かなきゃ！と慌てて準備をしています。面倒くささで重い腰がなかなか上がりませんが、せっかくの行事だし、子どもたちも楽しみにしているので、和装でお参りに行きたいと思います！そんなわけで今回は5歳前後の子どもが主人公のマンガを紹介します。

◆ よつばと！ ◆

著：あずまきよひこ 既刊・蔵書 15巻
「いつでも今日が、いちばん楽しい日。」が第1巻のキャッチコピーの、四つ葉のクローバーのような緑色の髪形をした5歳の少女・よつばが、大好きなとーちゃんやご近所さんと一緒に日常を全力で楽しむ姿を描いた物語です。主人公である5歳の”よつば”と、〇〇といった形で、とにもかくにも「よつば」が、真ん中にあるほのぼのとしたストーリーにホッと癒される作品です。



家にいる5歳児とどうしても重ねてしまう……。この年代の子どもってどうしてこんなに感じて飽きないんでしょう。遊びも喧嘩も泣くのも全力で、有り余るエネルギーを持って余している感があります。この作品では、よつばの目線でよつばが見て、感じて、体験したことが日記のように淡々と綴られています。生活の中に紛れている煌めくような一瞬がクローズアップされるわけでもなく、あえてマンガらしい「バーン!!」といった派手な効果は少なめで、回想シーンや、過去の振り返りといった描写がほとんど排除されているのも特徴です。あくまで「よつば」の目線、「よつば」が理解できている範囲に紙面の情報が絞られているところがまた面白い。サラ

リと読んだらただの日記ですが、味わって読むとまた違う一面がでてくる。噛めば噛むほど味が出るスルメイカみたいな作品です。

◆ コタローは1人暮らし ◆

著：津村マミ 既刊・蔵書 8巻

売れないマンガ家・狩野進(かりのしん)が住む部屋の隣にコタローという少年が1人で引っ越して来ました。4歳児ながら1人できちんと引っ越しの挨拶をし、家事をこなすと大人びているコタローですが、実は色々な過去を抱えている事が徐々にわかってきます。コタローと関わる事で狩野を始め周囲の大人達も成長していく、笑えて泣けるアットホームなヒューマンドラマコメディです。



ちょっと!?(かなり)複雑な家庭環境で育ったコタローが一人暮らししている理由は、ただ一つ、「強くなるため」。4歳児がそう思うに至った過程を知ると、胸が痛みます。

ジャンルとしてはヒューマンドラマコメディですが、テーマにしている内容は子育ての孤立化、DV、虐待、ネグレクトといった社会問題がテーマになっています。コミカルなタッチとぷすっと笑えるギャグを介して真正面から現状を伝えるには辛くなりすぎてしまうテーマをあえてマンガにすることで伝えたいというのが、この作品のチャレンジなのかもしれません。こちらの作品は、小学生にオススメしてもらった作品です。面白いの延長線上に、実社会で似たような話題に触れた時に、疑問や問題意識を感じてくれるキッカケになったらいいと思います。

(みんなでつくる学童STEMs そふえ)
[STEMz マンガ文庫]で検索!

狼の物語に託す、「これから私はどう生きるか」 ファンタジー小説『奏恩の遠吠え』

アッキー28号さまとの不思議なご縁により、空乃晴著「奏恩の遠吠え(そうおんのおぼえ)」を紹介させていただけることに、心から感謝いたします。

私の娘である空乃晴は、口唇口蓋裂・軽度知的障害児として生まれました。いじめや差別などにより、不登校・引きこもりを経験し、常に生きづらさを感じて生きてきました。そして、その中で感じたこと、考えてきたことを登場キャラクターであるたくさんの「狼」たちに想いを重ね合わせ、物語を書いてきました。

そうして誕生したのがファンタジー小説「奏恩の遠吠え」です。小説の中では何匹もの「狼」が登場します。それぞれが「彼女自身」であり、これまでの経験から、これからどう生きるかを模索しながら同時進行で書き上げた小説です。

また、イラストも全て彼女の作品です。童話



に登場する狼は、大抵が悪役のイメージです。しかし彼女が描く狼は、個性豊かで、とても優しい瞳をしています。群れの仲間たちを慈しみ、共に成長しあう、そんな狼の物語をぜひお楽しみいただければと思います。

現在、ブログやインスタグラムを通じて、自身の「今」の経験を発信しております。1人でも多くの方にこれらのことを知っていただき、彼女が経験してきたことが、1人でも多くの方のこれからの人生に、何らかのお役に立てればとても嬉しく思います。

吉田 恵



ブログ 奏恩の遠吠え
(←QRコード)

<https://0a8v8p0rsnbz.blog.fc2.com/>

書籍は「BOOTH」にて販売中 500円

ブログからリンクをたどれます

同志募集 !! 奥能登福祉農園（1） タイムトンネルの向こうの異空間

私は、小・中・高校時代～21歳まで、枚方市に住み、枚方市で育ちました。大阪市で学童保育の指導員になった後、石川県奥能登出身の主人と結婚し、石川県金沢市に26年住み、3人の子供が大きくなったのちに、主人の実家のある奥能登の山村に定住しました。

定住後、主人はすごく明るくなり、私は、その時51歳でしたが、初めて自分で無農薬のお米を育てました。思ったよりずっと、手がかかり大変でしたが、思ったよりはるかに楽しく、心地よい時間でした。初収穫後、自分のお米を食べた時には、すごく感動して涙が出ました。

こんなだいじなことを、知らなかった。

誰も教えてくれなかった。

伝えないといけない……そう思いました。

この喜びを、伝えないといけない。ここの暮らし方と……

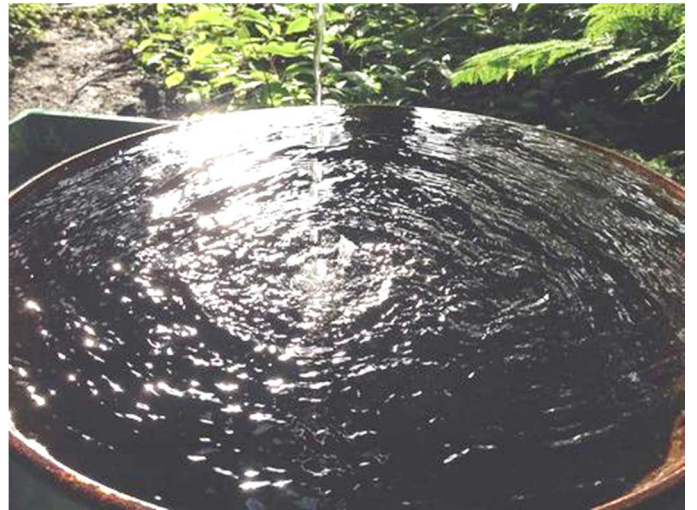
そう思い続けて、11年経ちました。

定住後、私たちは、誰よりも広大な耕作放棄地を相続しました。都市部から遠い『ポツンと一軒家』のような、美しくへんぴな場所です。

私は、この土地の活用方法として、ずっと考えましたが、福祉農園やダーチャ（郊外市民農園）として整備するのが、一番良いと思います。

また、冬は雪もあり大変ですが、夏は涼しく、我が村は、エアコン不要です。枚方市民の避暑地に良いのではないのでしょうか。（多少、虫対策など、生活の知恵が必要ですが）土地値が、ただ同然です。小屋の建設（写真のうちのは50万円）など、整備費用もかかりますが、同志を集めたら、庶民でも、なんとかなるのでは？

農地としても、夏に平地で雨不足に困っている時、昼夜の寒暖差が大きいいため、たくさんの夜露が降りるといった利点があります。



同志大募集 !!

飲み物は、天然の湧き水！
何より美味しく、滋養ゆたかで、
整腸にもよさそうな、最高の飲み物です。

棚田から、海が見えます。

わらび、ウド、セリ、ミツバ、
みょうが、ノブキ、ワサビ菜他、
食べられる野草が、畑はもちろん、
家の周りにたくさん自生しています。



文／鴻 章子（旧姓 広瀬）

LIPが選ぶ

今月の五行歌

お彼岸の赤蜻蛉

いぶやん

墓石の前で

ホバリング

一緒に手を合わせてくれて

いたのかな

ただいま

桑本明枝

おや、家主の家族さんですか

お帰りなさい

玄関口で

バツタがお出迎え

おでこ全開

さなぎ

自転車の美少年

幕のように

前髪が下りる

信子待ち

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。今回は、2回目の小学校とのコラボで作品をお届けします。

(連絡先: akkie.toyotaka@gmail.com)

または 090-5893-5635・豊高)

No.8

なんちゃって農業女子(笑)

前前回掲載した「さつま芋」の件ですが、「花」をつけてしまったし、7月が暑かったり8月は雨が多かったりして苗の成育そのものが芳しくなく、芋の出来栄はやはり期待したほどでもなかったのですが、味は逆に甘くて美味しかったので良かったです。

ただ、自然環境に左右される野菜作りには近年の天候不順は堪えると実感しますよね。

ところが、この夏の暑さや大雨でも対応ができる野菜があります。特に夏暑ければ熱いほど、秋にしっかりと実を付けてくれるのが今回お話しする「ハヤトウリ」原産国は熱帯アメリカで、ハヤト……の名のごとく、薩摩隼人のハヤト。日本の産地は「鹿児島県」で関西ではあまり馴染みのない野菜ですよね。

今回の写真が「隼人瓜」です。この野菜見たことありますか？私も実は三年前の秋に初めてこの野菜を頂き、食べ方がわかる方に一つプレゼントし、食べ方を教えてもらっていたのに、そのまま食べ忘れて保管していたら、ナン

ト翌年の春に「お尻の方からペロ(舌)のような物が出てきたので、慌てて「野菜の本」で調べてみたら、それ(舌のような物)は、根だとのこと。そのまま畑に植え付けて去年の春～初めて「ハヤトウリ」を栽培してみました。花は、小さくて白い鈴みたいなかわいい花ですが写真では分かりにくいので、今回も花の写真はやめました。

去年初めて栽培して、一株で「100個」以上収穫できました。毎回10個～20個は収穫でき、色んな人に食べてもらいました。

今年も去年の瓜を種に栽培したので今年も花が咲き、今や「ハヤトウリジャングル」育てるのは超簡単ですが、植えてから収穫まで半年かかり栽培に場所をとります。カリウムが豊富で、高血圧の予防やむくみの解消など体に良い効能が沢山ありますので、興味がある方はぜひ食べてみて下さい。毎回沢山採れますので欲しい方、お分けいたします。

(文・写真 へそくん)



漫才デビューしました。

岡本 通

今、世の中はお笑いブームである。テレビを見ても、お笑い番組がたくさんあり、その中で若い芸人たちが躍動している。そんな若い人たちにとって、お笑いの世界は、きらびやかな光の当たる場所であり、自分の可能性を試す場所であり、夢を実現できる場所なのだろう。若い人たちにあやかっていた訳ではないけれど、こんな歳(六十八歳)で突然漫才をすることになった。高齢者大学「笑いの創造科」の活動の一環で、フェスタに出演するためである。落語か漫才のどちらかを選べということ、一人でしゃべる落語より二人組の漫才の方がちよつと楽かな……くらの軽い気持ちで漫才を選んだ。

でも、その考えは甘かった。まず、セリフが覚えられない。テンポよく言葉が出てこない。相手との呼吸が合わない。つくづくきちんとしゃべるということは、むずかしいなあと感じた。これで、人様の前で笑いを取るなんて、恐れ多いという気持ちになる。しかし練習あるのみ。度胸

試しも兼ねて、大阪城公園でしゃべくりを練習することになった。公園デビューである。知らない人が大勢いる公園で、大きな声を張り上げるのはけっこうむずかしい。人が気になり、恥ずかしさが先に立つ。声が上がらず、身振りや動作も縮こまってしまう。散々であった。

でも、繰り返し練習してくると、せりふもしつかりし、大きな声も出るようになり、動きも板についてくる。公園にいる人に聞いてもらって、批評してもらおう。「まだまだやな、にいちちゃん」とか言ってくれて、この「にいちちゃん」という言葉が、この歳になるとうれしい。時々、笑いが起こると「ヤッター！」と心の中で密かに叫ぶ。これやな。若者たちの心をとらえて放さないお笑いの魅力とは、と思ったりしている。

「大阪府高齢者大学」文章講座卒業生でつくる「鶴島学校」の岡本通さんの作品です。講師をつとめる鶴島緋沙子さんの推奨作品。

イベント・サークル・ボランティア情報

【枚方自閉症児(者)親の会】

お母さん、一人で悩んでいませんか？ 障害があってもなくても、みんなと一緒に成長していきましょう。

おじいちゃん、おばあちゃんも歓迎です。

◆日時：11月15日(月) 10時～12時

◆日時：12月13日(月) 10時～12時

◆場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム

※連絡先 松崎 072-845-3014 さんなみ 072-868-9929

【参加者募集】心理カウンセラー養成講座

～講座体験&説明会～

◆内容：対人援助やカウンセリングに必要な基礎的なスキルを学びます。

◆日時：11月9日(火) 10:30～12:00

11月16日(火) 10:30～12:00

11月16日(火) 19:00～20:30

◆場所：ラポールひらかた

◆参加費：無料

◆定員：15名

◆申込・問合せ先：NPO法人京阪総合カウンセリング

TEL 072-814-7140

メール jim@npk-ksc.net

http://www.npo-ksc.net

【参加者募集】放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

情報交換・交流会

子どものことで、迷ったときに相談したり、悩みを打ち明けられる場があればいいなあ……。

そんな思いで集っています。支援者を交えて、気楽におしゃべり情報交換しませんか。午後からは、身体ほぐしのレッスンをを行います。

◆日時と場所：12月3日(金) ラポールひらかた

○10時30分～12時30分(遅刻早退OK、出入り自由)

3階 和室 情報交換交流会

○13時～14時(要予約)

4階 ミーティングルーム3

身体ほぐしのフェルデンレッスン

(タオルとお茶各自持参。動きやすい服装で行います)

◆参加費：無料

◆問合せ：c-k@love-dugong.net または、090-5893-5635 (16時以降 豊高)

下記ブログにて、随時情報を掲載しています。

<http://ameblo.jp/challengekids81573/>

(「チャレンジ・キッズ」「アメブロ」で検索してください)

● 新型コロナウイルス感染防止のために、催しが中止・延期になる可能性があります。主催者にお問い合わせください。●

わたしの闘病日記

「身体中で一番新しい関節に感謝」(5)

術後22日目、リハビリ中心の病院に転院しました。手術した病院では個室で呑気にしていましたが、転院先は4人部屋でした。一人ずつ「補高」(字が違ってもかもしれません)という約5cm厚みの便座マットを受け取り、トイレのたびに歩行器にぶら下げて行き、使用したら、また歩行器にぶら下げてベッドに戻らねばなりません。股関節を90度以下に曲げない為です。個室では補高は設置したままでしたので楽でした。毎度毎度の事なのでとても邪魔くさいです。

リハビリは1日3回あり、充実しています。(あくまで私の転院した病院でのことです)

脚が痛み出して5年間、かばいながら歩くくせ、約1.5センチ短くなっていた脚で歩くくせをリハビリで治していきます。無意識で歩いているため、なかなか治りません。(正しく歩く姿を「歩容」と言うそうです。「まだ歩容がきれいでない」と言われました。)

作業療法士さんから、膝・足首・股関節などの屈伸など身体のメンテナンスも施していただき、とても気持ちいいのですが、歩行器歩行から杖歩行に移行する時は心配でした。歩行器に身体を預け歩くのと違い、杖では自分の脚に全体重をかけての歩行なのです。

???当たり前???

そう、その当たり前が出来ないのが辛い(ノロ)シクシク...

どうしても手術した脚を無意識にかばいながら歩いてしまうのです。まだ痛みを感じながらなので仕方ありませんが、特に階段が辛かったです。

最初12センチの高さの階段を5段くらい登るのですが、手術した脚にグイッと身体を持ち上げる力が入らないのです。12センチの次は16センチの高さに挑戦。この僅か4センチが大きな壁となりました。

たった4センチが出来ない。太ももが痛い! 傷口が痛い! 力が入らない!

一回上るだけでハ〜ハ〜息が切れる。登るだけでなく降りるのも大変。手術した脚を先に降ろすときは大丈夫ですが、その反対の良い方の脚を降ろすときは、手術した脚が中途半端な位置で太ももに力が入らないと、身体を支えることが出来ずドスンと落ちるようになってしまいます。この動作はトイレで便座に座る時と同様の筋肉の支えが必要になります。

以前にもお話したように、当たり前に身体が動いてくれる有難さをつくづく感じ、リハビリに臨んでいました。

日マリハビリと自首トレでした。暫くはリハビリ部屋での歩行でしたが、やっと外を歩く訓練がやってきました。

外の空気が吸える、外の景色が(4人部屋の廊下側だったので「モグラ」のような生活でした)見られる。

まさに生きている実感を感じられる時が来たのです。＼(^o^)/

文・「枚方在住のおっちょこちよい」

応援ありがとうございます♪

LIP 応援団

宮木加寿代さん

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
18,397	前号から繰り越し
4,600	イエローレシート
2,000	広告代
2,000	応援団寄付
▼420	郵送代
▼500	ロッカー代
▼3,900	10月号印刷代
22,177	計(次号へ繰り越し)

《求人募集》

夜勤スタッフや女性正規スタッフを募集しています。

こんにちは! ショートステイみっきいの井村です(^^)

枚方小学校近くで『ショートステイみっきい』と『ガラスアクセサリー工房玻璃色』『子ども食堂若者版〜汁〜飯食堂』『手作り洗顔石鹸販売』を実施しています。

福祉っぽくない面白いことを展開しています。ぜひぜひ、私達の仲間となってください。詳細は、【ひらつー みっきい】で検索いただき、tayuragi@swee.info 又は、080-3837-8035 (井村) までお願いします。

特定非営利活動法人たゆらぎ

<https://tayuragi.com/>



「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索

イラスト 表紙: 平井由恵